

子ども会：種下ろし 盛大に開催

11/8(土)に、子ども会の種下ろしがありました。上・中・下の三集落を回り、最後は校長住宅でした。私も感動で胸がいっぱいになりました。ありがとうございました。集落のみなさんには、温かく見守っていただき、子ども会へたくさん御寄付を寄せていたみたいで、本当にありがとうございました。

子供たちだけで歌って踊り、三味線やチチン、はなの紹介もできる種下ろしは、島内探してもなかなか無いのではないかと思います。普段からの地域の先輩方による熱心な御指導あってのことだと思います。子供たちの種下ろしは、明日に繋がる集落の宝だと思います。また、子ども会の種下ろしも、文化継承に繋がっていると思います。指導者のみなさん・保護者のみなさん、そして子供たち、お疲れ様でした。



龍郷町駅伝競走大会

11月16日(日)は龍郷町駅伝競走大会が開催されました。戸口集落の学校代表として2区1.1kmを6年生の赤尾凜さん、森陽菜乃さん、8区1.6kmを6年生の山田昊南翔さん、牧主拓誠さんが力走してくれました。今年は、A・B2チーム参加していました。

また、他の区間の選手の皆さんもすごく頑張られていて、**Bクラス優勝：総合5位・8位**という素晴らしい結果でした。また、関係者の皆様も御指導有り難うございました。



赤尾 凜さん 森 陽菜乃さん 山田 昊南翔さん 牧主 拓誠さん

表彰式に行ってきました！

11月20日(木)に、神奈川県の横浜武道館で学校保健・学校安全の「文部科学大臣表彰」があり、表彰式に参加してきました。全国の小学校・中学校・高等学校・義務教育学校の中から「学校安全の部」は、13校のみでした。

令和4年度から令和7年度まで、町役場・教育委員会、各関係機関の御指導・御協力をいただき、学校（児童・旧職員・現職員）・保護者・地域の方、みんなで取り組んできましたことを認めていただきとても嬉しく思いました。

みなさんのお陰です。

今後も「危険を理解・予測し、その状況下で最善を尽くし自分の命を守る子供」の育成を続けていきたいと思います！



高齢者の皆さんとの交流会がありました！

11月21日(金)に、地域の高齢者の皆さんに御来校いただき、3・4年生が交流会を開きました。日頃から種下ろしや餅つきなどで大変お世話になっている皆さんですので、今回は、子供たちが御礼の気持ちを込めて計画を進めてきました。私は、出張のため参加できなかったのですが、グラウンドゴルフでは、高齢者のみなさんが圧倒的に上手だったことや交流給食でいろんなお話を聞かせていただいたことなど、楽しかったということを後から聞くことでした。いつもありがとうございます。お世話になりました。

山口敏美さん、朝 和範さん、朝 恵子さん、福田清一さん
保村修三さん、森 弘さん、森 節代さん、徳 ふみ子さん
川上のり子さん、山田国治さん
河波陽子さん、生島泰二さん、生島正子さん、牧主幸子さん
子供たちのために ありがとうございました！



「種下ろしやんせ むちもれがきやよていな。」

私が住む戸口集落では、「八月踊り」という伝統行事がある。私の大好きな行事の一つだ。太鼓と三味線の音が響き、唄が始まると自然と体が動き出し、心がわくわくしてくる。輪になって声を合わせて、唄いながら踊ると、知らない人ともあつという間に心がつながる気がする。魔法のようだ。

初めて八月踊りに参加したとき、私は緊張して輪の中に入ることができなかつた。踊り方も分からず、周りの人について行けるか不安でいっぱいだつた。そんな時、すぐ横にいたおばあちゃんが、「大丈夫よ。一緒に楽しもう。」と笑顔で手を差し伸べてくれた。その手の温かさにすぐに不安は消え去つた。見よう見まねで足を動かし、声を合わせているうちに、次第に輪に溶け込むことができるようになつていつた。八月踊りは、単なる伝統の場ではなく、人と人を結ぶ大切な場であることにそのままの時気付いた。

その他にも八月踊りには、いろいろな意味が込められていることを知つた。ただ踊つて楽しむだけではなく、祖先を敬う気持ちが込められているそうだ。お盆にあたり、「ご先祖さまを供養するために行われてきた。「祖先と今を生きる自分たちをつなぐ。」大切な行事である。また、豊年祈願や自然への感謝も込められているそうだ。農作物の収穫を喜められているそうだ。お盆にあたり、「ご先祖さまを供養するために行われてきた。「祖先と今を生きる自分たちをつなぐ。」大切な行事である。また、豊年祈願や自然への感謝も

町審査会特選（地区審査へ出品）
「踊りに想いをのせて」

六年 悅 冬海香

町審査会特選（地区審査へ出品）

「踊りに想いをのせて」

私が踊って感じているように、昔の人たちも同じように声を合わせ、心を一つにしてきたのではないだろうか。輪になって踊る瞬間は、時間を超えて昔の人たちと繋がっていると感じる。こんな素晴らしい伝統があることを私はとても誇りに思う。

私はもう一つ誇りに思うことがある。それは、戸口小みんなで「自分たちだけで踊る八月踊り」だ。先輩たちから受け継いできた戸口小学校伝統だ。私がたたく太鼓の音に合わせて輪になり、力一杯唄声を響かせる。最初は、恥ずかしくて声が小さくなつてしまつたが、友達が楽しそうに唄つているのを見て私も自然と声が大きくなつていつた。今では見本にもなつて下学年に唄や踊りを教えている。学校のみんなで踊る八月踊りは、気が付くと、みんなの足音と唄声が一つになり体育館いっぱいに広がる。その瞬間、「自分たちの力で伝統を守っているんだ」と実感し胸が熱くなる。

六年間踊り続けてきた八月踊りは、今年で六年目。最後の年だ。八月踊りは、私の宝だ。これからも八月踊りを愛し、大切にしたい。そして、この伝統を未来につなげるために、心を込めて踊り続けたい。



ひらき山

« 校訓 » 強く・正しく・むつまじく

校長 森 智子

心が震える

「感動は、人生の扉を開ける！」

と、児童文学者の「椋 鳩十先生」が名言を残しています。私も本当にその通りだと実体験を通して思っています。入院中に父が持ってきた一冊の本「窓際のトットちゃん」。その中で出てくる小林宗作校長とトモ工学園に感動し、「こんな教員になりたい」「こんな学校・学級を創りたい。」と思ったことが、私の教員人生のスタートでした。夢がなく自分をもてあましていた17歳時の「小さな感動」が、正に人生の扉を開けるきっかけの一となりました。

教職についてからも「感動体験」を自分の教育の軸のひとつに据え、できるだけ「本物（本者）に触れさせる」ことにこだわってきました。**本物（本者）が放つ涙みを子供たちにも味わってもらい、心を揺さぶりたい**と思ったからです。人生の扉に繋がればという想いがありました。

さて、年を重ねていくと初めての体験がだんだん減り、日常生活の中で心が震えるほどのことばかり少なくなってきたような気がします。しかし、先日、全国校長研修会で久しぶりに心が震える経験をしました。それは、**世界文化遺産：サグラダ・ファミリア**（スペイン：バルセロナ）の主任彫刻家をなさっている「外尾悦郎氏」の講演を聞く機会に恵まれたことでした。（TVの「博士ちゃん」という番組でも、女優の芦田愛菜さんと対談されていた方で、以前ネスカフェのCM「違いが分かる男シリーズ」にも出演されていた方です。）

サグラダ・ファミリアは、建築家アントニ・ガウディにより1882年に着工された教会で、ガウディが亡くなった今もガウディの意思を引き継ぎ、100年以上も建築を続け、**未完の傑作**とも言われています。内戦で焼け、資料等もない中、ガウディの想いを徹底的に探しながら掘り続けています。異国地スペインで日本人の外尾氏が中心になって、彫刻（建設）をリードしています。外尾氏は、元美術教師でもありました。彼の口から溢れるように出てくる重みのある言葉は、**ただひたすらに一つの道を積み重ねた本者**がもつ涙みがありました。

○故郷を心に強くもっている人は、いくらでも遠くへ行ける。

○故郷が子供を育てる。地域の人々が、教員が、学校があるとなる。

○完璧や完成などない。何かを信じ切ったとき、危ない状況が起こる。

○子供たちを剪定しない。誰も完璧ではない。多様な子供がいることを喜ぶ。

○涙とともにパンを食べた者でなければ、パンの本当の味は分からぬ。

○一つのことを突き詰めていく子供は、多々孤独になる。孤独は悪いことではないことを伝えて！

○ガウディを本当に知りたかったら、ガウディを見ないでガウディが見ていた方向を見る。（仕事をする度に、新たなガウディと出会う）

○「美」とは、真実の輝き。○子供の洞察力にはかなわない。

○親子の愛情と同じで、近くでは見えないが、離れるとよく見える。（サグラダファミリアを眺めながら）

あっという間の2時間でした。まだまだ、素敵なお話をたくさんありました。やはり本者（本物）に触れると、エネルギーを戴きます。日々を丁寧に生きていくたいと思います。



「糸繰り節」

「世界に一つだけの花」合唱



令和7年度 学習発表会

11月8日(土)に、碇山教育長、深川指導主事や地域・保護者の皆様に御来校いただき、今年も賑やかに学習発表会を開催することができました。各学年がこれまでの学習の成果を工夫しながら一生懸命発表してくれました。皆様の温かい拍手や反応に、子供たちはますます張り切り、本番の発表が一番輝いていました。**この学習発表会は、各教科の集大成であると同時に、普段見えない子供たちの一面や特技が分かったり、練習する中で学級が一つになったりする、とても意義深い行事です。**何より表現することが大好きな戸口っ子にとっては、楽しみに取り組んでいる行事の一つです。

教員共に、充実感や達成感を味わうことができたと思います。また来年、子供たちの成長した姿をお届けできるよう職員一丸となって日々の教育活動にあたっていきたいと思います。ありがとうございました。



学校評議員会がありました

11月5日（水）は、中戸口の植田敏博区長、下戸口の山口利博区長、PTA会長の中村健太郎さん（代理：洋子さん）に御来校いただき、学校評議員会を開催しました。各学年の授業参観や施設の安全点検等をしていただいた後、2学期の学校経営状況や児童の実態、来年度の行事予定等を説明し、懸案事項について相談・意見交換をさせていただきました。ありがとうございました。

めざせ100%！！

本校の課題のひとつに「むし歯保有率の高さ」があります。中には、一人で10本ちかく保有している子もいます。歯は、一生のうちに乳歯と永久歯の2本しかありません。小学校のうちにしっかりとケアや治療をしないと、早々に歯を失い将来に大きく影響します。11月末現在、戸口小の治療率は、**74.1%**です。

むし歯も他の疾病と同じです。早めの治療をお願いします。子供たちの明るい未来のためにがんばりましょう！！

○福岡で小・中・高時代を過ごし、京都市立芸術大学美術学部彫刻科卒業後中学校・高校の非常勤講師として勤務し、その後1978年（昭和53年）にスペインへ渡る。

2002年 福岡県文化賞

リヤドロ・アート・スピリッツ賞

2008年 外務大臣表彰

2012年 ミケランジェロ賞

2014年 ヨーロッパ建設十字金賞

ガウディ・グレソール賞

2020年 文化庁長官表彰

2023年 文部科学大臣表彰

2024年 ラツィンガー賞

12月 行事予定

2日（火）全校レクリエーション

3日（水）学校保健委員会

持久走大会

学級PTA

13日（土）土曜授業

16日（火）町学校保健研究大会

24日（水）終業式

1月 行事予定

1日（木）校区年始式

8日（木）始業式

いじめ問題を考える週間

10日（土）土曜授業（5年生歳の祝い）

13日（火）・14日（水）鹿児島学力・学習状況調査

23日（金）縄跳び大会・学級PTA家庭教育学級

お願い！

子供たちの欠席届は、子供便ではなく、必ず保護者から担任（または学校）へ連絡をお願いします。お忙しいとは思いますが、御協力をよろしくお願ひします。